

桜の季節、春となりましたが、榛南の医療情勢は嵐の中に突入です。

また康寿診報が届いたぞ！ 鬱陶しい、煩いと思わずに、今の日本の医療状況で、何処にでも起こりうる問題として捉えて下さい。宜しくお願いします。

3/17 「再建目指す榛原総合病院 地域医療継続へ住民がエール」の静岡新聞 P19(15×21cm)の掲載。茂庭将彦院長の久々に見る笑顔に私まで泣けてきました。

3/18 吉田町学習ホールでの「榛原病院の説明会」は、3/13 静岡新聞 P21(4×10cm)に掲載、住民に対する十分な広報はなされず開催。早急な町のアナウンス啓蒙を込めた“策”には「意欲・パワー・具体性に欠けている」と思われます。

「住民の意識の変革」それにはどのような行動を起こすか？ 私はそれに肖ろうと思います。そして榛原病院が閉鎖とならないように、たとえ閉鎖となっても力強くそこから立ち上がるように、何より今が底という時期が少しでも早く訪れ復興に向かうことを願って、今 行動しております。次回 4/18 午後開催の「第78 回睦会」は、現実の状況 そこに配慮し、本院通院中の患者さん そしてこの地の住民として、どんな心構えと準備が必要か、実際 3 月下旬から生じている状況の説明を含め、周到に準備をしております。

4/1 より吉田町健康づくり課は 八木三千博課長が就任されるようです。2/27 の会議の内容(康寿診報 138 号 P2,3 参照)を含め 十分な受け継ぎの上で、住民そして医療・健診・介護等の現場を向いた政策を願っております。

3/7 朝、単なる悪戯だと考えますが自宅の塀が壊されていきました。3 回目の出来事、そして不安と恐怖もあり、防犯会社セコムにお願いしまして、この昼 警察に被害届をお願いしました。最近の赤外線カメラの性能には驚くべきです。この結末には警察も愕いていました。

Jリーグ開幕戦 ジュビロ磐田はモンテディオ山形を迎え 2:6 の大敗、ロスタイムの 2 失点は余分。ネガティブな状況で如何に失点をされないか「大切な現場で弱い部分が露呈」した最悪のジュビロ。その後、G大阪に 1:4、浦和レッズに 0:3 と優勝候補との対戦で 3 連敗、最下位。このままでは終らない“今が底”。ジュビロの“ゼロ”からの出発に期待します。

康寿診報 139 号 早めに送らせて頂きます。

敬具

平成 21 年 3 月 23 日

加藤寿夫

康寿診報第 138 号の本文 そして 3/7 の送付に添えた紙面の氏名を誤りました。申し訳ありません。御本人そして皆様にお詫びします。正しくは、静岡県立大学前学長 西垣克氏、健康づくり課 杉村勝巳課長です。

なお 杉村勝巳氏は 4/1 人事異動にて 議会事務局長に異動されるようです。お疲れ様でした。受け継ぎについてはくれぐれも十分にと願いたいものです。ホームページが新しくなりました。<http://www.katoiin.jp> ぜひご覧ください。

漢方による「花粉治療」積極的におこなっております。来院にて本院の資料を参照してください。